芸能部門

第一回 芸能祭

平成十七年一月二十三日（日）さぬき市文化協会市民芸能祭が、二十二団体、一九四名が参加して開催されました。

邦舞の部

新舞踊が開花したのに

志度民踊研究会　藤原昌弘

歌舞伎芝居を母体にした歌舞伎舞踊と、京都、大阪の座敷舞から生まれた地唄舞がある。昭和三〇年頃から舞踊の主体を「民踊」とか「民舞」と呼ぶ新しい流儀が多くなっている。

各地に伝承される盆踊りをアレンジしたり民謡に振りを付けたりして、大勢に踊らせる形、体育ダンスやフォークダンスの専門家に日舞の先生方も加わって、この種の舞踊の創作と指導を盛んに行うようになった。踊りが一定動作の繰り返しで、リズミカルで覚えやすく、衣装代もかからず集団で楽しめるので、生活の余暇に、また地域のサークル活動の一つとして、これを学ぶ人達が増えてきた。

時に昭和四十年頃、民謡ブームと重なって民踊熱が盛り上がりレコード会社で民踊のための民謡と歌謡曲を合わせた創作歌曲を製作し普及につとめた。これで民踊、民舞はより大衆化し新舞踊が開花したと言える。

ところで現在は、一部の愛好者だけのものになっている観があり、特に若い入門者が少ないのは残念なことである。指導者は、すべての人に良さを知ってもらい、伝えていくことを真剣に考えなければならない。

洋舞の部

フォークダンスと健康

あじさいステップス　横田孝子

フォークダンスの明るい笑顔は若さの源です。あじさいステップスの仲間は、毎週木曜日二時間いい汗流しています。素敵な音楽を聴きながら、軽やかなステップをすることは、心身をリフレッシュでき、体を動かすのは最高です。

フォークダンスというと、一般には、運動会とかキャンプファイヤーで踊られる「マイムマイム」「オクラホマミクサー」「コロブチカ」の三曲がすべてみたいに思われがちなのですが実に様々な曲、踊りがあるのです。狭い意味でのフォークダンスとは世界各地の民族舞踊ですが、広い意味では、ラウンドダンス、フォークダンスと社交ダンスのステップを使ってポピュラーな曲に合わせて踊るものやレクリエーションダンス、歌謡曲などに振り付けたもの、それに盆踊りで踊られるような日本民踊といったものも含まれています。リズムに乗って体を動かすことはすべて健康に通じています。皆さん、いつでも参加してください。

▲ショウブ祭りでフォークダンス

演芸の部

次世代に伝えること

劇団プチミュージカル　白川惠介

劇団プチミュージカルは、発足時に「一、地方から文化発信」「二、文化創造者としてのアマチュア」「三、全国レベルの作品制作」「四、文化団体の教育活動」のコンセプトを挙げました。

四番目のコンセプトに関して昨年度さぬき市で開催された文化交流会で、文化団体が教育活動を行うことを提言しました。自分の楽しみのためだけの活動は趣味です。文化とは個人の趣味を超え、時代を超えた崇高な人間の営みであり共有財産です。そしてそれを次の世代に伝えなければならないと思うのです。各文化団体がその財産を子供たちに伝える活動（入門・体験活動）を始めれば、さぬき市は文化の薫る潤いのある町になっていくのではないでしょうか。

二十年間劇団活動を続けて参りましたが、将来を考えれば現スタッフは高齢化し、今の様な活動は持続できません。そこで劇団はこの先十年を育成の十年と捉え、その第一弾として八月にサンポートホールで若いスタッフだけで制作するプチミュージカルジュニア公演を企画しています。この十年間で私達が身につけたすべてのものを惜しみなく次の世代に伝えたいと思います。

伝統芸能の部

伝統芸能　会長　朝倉忠夫

民俗芸能は、大川町で現在十四の団体がそれぞれ活動し技術の錬磨につとめています。

まず、富田中村のお鉄砲は十二名の小学生以下の子ども達によって構成され、郷土の先覚で、みろく石穴導水を成し遂げた軒原庄蔵氏より工事完成記念として寄贈され、現在も伝承しています。富田東村に伝承する挟み箱は六名で構成され、貴重品を収納する漆塗りの長持を操作して演技するものです。

奴は、田面奴が長い二本奴、西村奴が短い六本奴で田面は、毛が白く西村は白黒となっています。

獅子舞は、筒野の虎獅子が代表的で無形文化財に指定されており、中四国ブロック大会にも出場しています。時友獅子が、一頭獅子の他は雌雄二頭の夫婦獅子で演舞されています。

少子化のすすむ中、郷土に根ざした伝統芸能を保存伝承することにより、次代を担う子ども達にふるさとの想い出づくりやふるさと心の涵養をはかり、農村への定着をめざしています。

▶民家での獅子舞